



公益財団法人 長崎平和推進協会
<https://www.peace-wing-n.or.jp>

- 令和3年度 長崎平和推進協会 理事・監事・評議員のご紹介
- 被爆76年 平和関連行事のご紹介
- 令和2年度 長崎平和推進協会 事業報告
- アジア青年平和交流事業 若者による企画 大募集！
- 被爆体験を「受け継ぎたい方」「託したい方」募集！
- 写真資料調査部会が表彰されました
- 「被爆の実相の伝承」オンライン化・デジタル化を始めます
- 来訪者コーナー
- 会員の広場
- TOPICS！（長崎市立長崎商業高等学校より寄附をいただきました ほか）



横瀬昭幸 前理事長(左)から調漸 新理事長(右)へ、平和のバトンが渡されました

令和3年度 長崎平和推進協会 理事・監事・評議員のご紹介

5月20日に第1回通常理事会、6月4日に定時評議員会及び臨時理事会を開催しました。今回は新型コロナウイルスの感染防止のため、追悼平和祈念館交流ラウンジを会場とする他、オンラインを併用しての開催となりました。ウェブ会議ツールを使つての理事会・評議員会は、初めての取り組みです。

定時評議員会では、令和2年度の協会決算が承認され、任期満了に伴う理事及び監事、退任に伴う一部の評議員が選任されました。

今回、協会の効率的な運営や議論の活発化を図るために、理事・評議員の人数を10人程度に絞り込むこととなり、今年度任期満了となる理事から見直しを行いました。

また9期18年間理事長を務めた横瀬昭幸理事が退任し、新しく調漸理事が理事長に就任されました。

令和3年6月4日以降の理事、監事、評議員の方々は左記のとおりです。

新任のご挨拶

理事長 調漸 しらすべ すずむ



この度、新しく平和推進協会理事長に就任させていただきましたこととなりました調漸でございます。

私は、これまで長崎大学で教授、副学長として医学・医療の発展に取り組むとともに、長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の設立、運営など核軍縮をめぐる世界各国との連携や若手人材育成・平和教育にも積極的に携わってまいりました。また現在、長崎県・長崎市・長崎大学で組織する核兵器廃絶長崎連絡協議会の会長も設立時から務めており、これらの経験を平和推進協会の更なる発展に活かしていきたいと存じます。

長崎平和推進協会は公益財団法人として高い公益性とともに大きな社会的責任も担っており、今回の理事長就任は身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところでございます。今後とも「核兵器廃絶と世界恒久平和」の実現に貢献するという社会的使命（ミッション）に基づき、様々な平和推進事業を進めてまいります。

被爆者の高齢化が進む中、積極的に被爆体験の継承に取り組むとともに、核兵器禁止条約を世界のルールとするために、会員・市民の皆様と力を合わせて「核兵器廃絶」に力を尽くしたいと思います。

最後に、協会の運営に関して、市民の皆様のご支援とご協力を切にお願いし、就任のあいさついたします。

退任のご挨拶

前理事長 横瀬昭幸 たてゆき てるゆき



このたび任期満了に伴い平和推進協会理事長を退任させていただきましたこととなりました。

長瀬重信第2代理事長の後任として平成15年に理事長に就任以来9期18年の在任期間中、会員・市民の皆様のご協力により、無事職責を全うすることができましたことに対し厚くお礼申し上げます。

顧みますと様々な事柄が思い起こされますが、初代秋月辰一郎理事長が協会設立にあたり掲げられた「小異を残して大同に集まる」という理念のもと被爆体験の継承をはじめ平和意識の啓発、若者の育成など平和推進のための事業に取り組んでまいりました。

退任後も顧問として協会のさらなる発展のために力を尽くしたいと思います。

最後に、協会の益々の発展と一日も早い核兵器のない世界の実現を祈念して、退任のあいさつさせていただきます。



【理事 11人】

理事長 調漸

副理事長 升本由美子
三根眞理子

石田謙二、岩永洋一

岩満由美、小出進

篠崎桂子、田中重光

本田魂、宮崎裕輝

【監事 2人】

小川智央、佐藤宏文

【評議員 20人】

相本倫子、池本仁史

大矢正人、紀伊義孝

北野健一郎、久保純一

久保田修寿、桑原伸良

小西慶幸、小柳勝彦

坂口育裕、植田禎子

船本貴之、前島慶太郎

前田孝志、真島和博

松尾恵子、森田幸一

吉原幹男、渡部明

(太字は新任の評議員)

※敬称略、五十音順

8月8日(日・祝) 平和の灯

時間 18時45分～20時00分(予定)

場所 平和公園(平和の泉)

8月7日(土)～8月9日(月・休)

原爆資料館・追悼平和祈念館 開館延長

時間 8時30分～20時00分

8月7日(土)～8月9日(月・休)

平和案内人による資料館・祈念館ガイド

時間 9時00分～20時00分

受付 原爆資料館 正面入り口

ボランティアガイド「平和案内人」が原爆資料館や追悼平和祈念館を案内します。

3日間は活動時間を延長し、人員も増やして活動します。



問い合わせ：長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

8月8日(日・祝)～8月9日(月・休)

永遠の会による常駐朗読

時間 8時30分～19時30分(予定)

場所 追悼平和祈念館 交流ラウンジ

追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記を、ご希望に応じて朗読します。

所要時間は5分程度です。



問い合わせ：追悼平和祈念館 ☎095-814-0055



1945年8月9日午前11時2分。長崎に原子爆弾が炸裂し、多くの方が犠牲となりました。

あの日から76年。この夏も、多くの行事が行われます。原爆の恐ろしさ、平和の大切さを改めて感じてみませんか？

7月21日(水)～7月26日(月)

被爆76年 ナガサキ原爆写真展

時間 10時00分～18時00分 ※最終日は15時まで

場所 長崎市立図書館 多目的ホール

主催 長崎平和推進協会 写真資料調査部会
長崎市立図書館

東京大学・渡邊英徳教授の協力を得て、AI技術によりカラー化された写真をはじめ、米国国立公文書館所蔵の未公開写真を交えて展示します。



写真：松田弘道
カラー化：「記憶の解凍プロジェクト」渡邊英徳

問い合わせ：長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

8月1日(日) 第36回長崎平和音楽祭

時間 14時00分～16時00分

場所 長崎原爆資料館ホール

主催 長崎平和音楽祭実行委員会 ☎095-823-9373

※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止や延期となる場合があります。事前にご確認ください。





②育成事業 10,101,501円

【部会活動】 平和意識の啓発・高揚を図るために、会員で組織する4部会が活動した。

●部会：継承部会(43人) 国際交流部会(24人) 写真資料調査部会(9人) 音楽部会(17人)

【平和案内人の育成と派遣】

原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等を案内する平和案内人として活動した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一時、活動を停止した。長崎を訪問できない方々に向けて碑めぐり動画を作成し、YouTubeで公開した。

また延期となっていた第7期生の育成講座を再開し、9月から活動を開始した。

●利用者数：資料館常駐2,345人 資料館予約514人 碑めぐり予約2,704人

●育成講座：6月27日～7月11日(延期3回分の実施)



【アジア青年平和交流事業】

県内の若者から企画を募集し、下記3団体の事業を認定して業務委託した。企画者自身が取り組み、実施した。

●認定事業：長崎純心大学 Green Pieces 長崎大学 Peace Caravan 隊 活水高等学校平和学習部

【平和事業支援・秋月グラント】 協会の活動趣旨と合致する活動に対して、共催・後援及び助成を行った。

【語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進事業】 長崎市からの受託事業

被爆者の体験や思いを語り継ぐ「家族・交流証言者」の育成・派遣を支援した。9月に交流会を実施し、新しい参加者を募った。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一時期、派遣等の活動を休止した。

●登録者数：109人(講話可能者44人、研修者65人) ●講話回数：110回(長崎市内外合計)

【青少年ピースボランティア育成事業】 長崎市からの受託事業

15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学んだ。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、主にオンラインでの実施となった。英語や歴史、表現など、グループごとの活動を開始した。

●登録者数：141人(高校生69人、大学生41人、社会人13人、その他18人)

【青少年ピースフォーラム】 長崎市からの受託事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国から集まることが難しくなったことから、11月28日にオンラインで開催した。青少年ピースボランティアによるフォーラム紹介動画等を作成した。

【青少年平和交流】 長崎市からの受託事業

高校生のハワイへの派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学習会やアメリカ本土やハワイの学生らとの交流会は全てオンラインで実施した。



【国際青年平和フォーラム】 長崎市からの受託事業

2月28日、被爆75周年事業として国内外の若者約30人が「次世代への継承・平和の発信に向け、取り組みたいことは何か」をテーマに交流し、被爆地・長崎に望む取り組みを提言するフォーラムを開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインでの実施とした。

Ⅳ その他管理運営に係る費用

2,850,917円

社会保険労務士、税理士等から助言を受け、法人を的確に運営した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、理事会・評議員会等は書面決議とした。特に、著作権研修などの職員研修を実施した。

I 平和推進事業 50,589,607円 (①+②+③+④+⑤)

①啓発事業 4,656,241円

【被爆体験講話者の派遣】

修学旅行団体や自治体等から依頼を受け、被爆体験講話を実施した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月～7月末まで講話を中止したこともあり、例年より少ない実績となったが、修学旅行を中止した学校等に対し、オンラインでの講話も実施した。

また、被爆体験講話が急遽実施できなくなった場合の代替案としての活用を見据え、被爆者証言ビデオ(4本)を作成した。

- 講話実績：495件(うちオンライン17件)
小学校301件(3件)、中学校100件(5件)、高校80件(6件)、一般14件(3件)
- 長崎県主催事業：西海市(1件)、大村市(2件)



【県外原爆展の運営】 長崎市からの受託事業

県外の方々に原爆の悲惨さや平和の大切さを伝えるため、「県外原爆展」を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、規模を縮小しての実施となった。また、写真パネル等を紹介する動画を作成し、YouTubeで公開した。

- 開催実績：富山県高岡市(写真展のみ) 九州大学(オンラインでの被爆体験講話) 原爆資料館(特別企画展)

【原爆被災写真パネル・DVD(ビデオ)の貸出】

修学旅行等の事前学習や、実施できなかった平和学習の代替案として貸し出した。

- 貸出実績：写真パネル16件、DVD(ビデオ)105件(233本)

【講演会の開催】

被爆75周年記念事業として、原爆朗読劇を開催した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、入場人数を収容人数の半数に制限し、資料館ホールから平和学習室へ中継を行った。

- 女優たちの原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」2020特別編 in NAGASAKI
開催日：8月30日(日) 会場：原爆資料館ホール・平和学習室



【国連軍縮週間行事 市民のつどい】

国連軍縮週間に合わせ、「市民のつどい」を開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部コーナーを中止し、動画上映やパネルの展示等を行った。

開催日：10月24日(土) 場所：原爆資料館前階段下広場

- ③発刊事業 1,379,872円 会報「へいわ」や「平和のあゆみ」等の発行の他、SNSで情報を発信した。
- ④調査研究 5,467円 国際基督教大学の学生を、長崎県内の平和施設等へ案内して協力した。
- ⑤その他費用 34,446,526円 人件費、事務費など。

II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

244,897,040円

平成15年に開館した追悼平和祈念館の管理・運営、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を国(厚生労働省)から受託し、実施した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開館以降初めて、2月29日から5月31日まで臨時休館した。再開館に合わせ、感染対策に取り組んだ。

- 実施した事業：遺影の登録、証言等の収集・映像制作、海外原爆展、被爆体験記朗読ボランティア、ピースネット、平和ボランティア育成外国語講座など

III 収益事業

3,320,981円

自主財源を確保するため、原爆に関する書籍やオリジナルグッズを販売した。書籍「長崎原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ」を15年ぶりに改訂し、増補改訂版として発売を開始した。協会ウェブサイトでのオンライン販売にも力を入れた。



アジア青年平和交流事業 若者による企画 大募集!



当協会では、アジア青年平和交流事業として、若者の皆さんの活動に対する支援を行っています。
今年も皆さんが自由に企画し、運営する平和への取り組み「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」を募集します。自らの手で平和への取り組みを企画・実施し、成果を報告することには不安を感じるかもしれませんが、資金面を含めて協会がバックアップします。
この機会に、皆さんの力を発揮してませんか?

【令和2年度の企画内容】

- 長崎在住の外国人に戦争・原爆・平和に関するインタビューを行い、内容をまとめた冊子を作成・配付した。
- オンラインでの国際交流イベントへの参加の他、勉強会の開催や、「原爆とは?」を題材に動画の制作に取り組んだ。
- 「ふりそでの少女」の物語や像制作に関わった方々の話をまとめた冊子、ふりそで折り紙の折り方動画を作成した。

「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」募集内容

- 募集期間** 6月1日(火)～8月27日(金) ※最終日までに必着
募集対象 長崎県内の高校、専門学校、短大・大学・大学院に通う皆さん(留学生を含む)
募集テーマ 自分たちが考える国際・平和交流プログラム
助成金額 上限20万円
応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、送付
- 9月5日(日)に開催する「発表・審査会」に参加いただき、審査員等に発表していただきます。詳細は、協会ウェブサイトをご確認ください

被爆体験を「受け継ぎたい方」「託したい方」募集中!

私は原爆と平和について次世代に伝えたいと思い、交流会に参加しました。清野さんの体験の聞き取りをして、現在は清野さんが描いた絵をお借りして講話活動をしています。平和について考えるきっかけとなる講話を心がけています。被爆者である私の両親は自身の体験を語らなかつたのですが、私の活動を見守ってくれ、最近になり体験談を少しずつ聞かせてくれるようになったことが、とても嬉しいです。

長崎に原爆が投下されてから76年。被爆者の高齢化が進み、直接体験を話すことが難しくなりつつあります。忘れてはいけない被爆者の体験を受け継ぎ、次の世代に伝える「語り継ぐ被爆体験推進事業」では、被爆体験を受け継ぎたい方、託したい被爆者の方を募集します。
受け継ぎたい方は、原稿作成の際の支援の他、パソコンや話し方など講話に必要な研修を支援します。
これまでご自分の体験を語ったことがない方も、事務局までお気軽にお問い合わせください。
家族や周りに被爆者がいない方、体験を聞いてくれる方がいない被爆者の方々の出合いの場として「交流会」を開催します。活動に興味がある方は是非ご参加ください。

活動に興味がある方は是非! 交流会のご案内

- 募集対象** 被爆体験を受け継ぎたい方、託したい方
交流会日時 ①9月18日(土) 14:30～16:30
 ②9月19日(日) 14:30～16:30
開催場所 長崎原爆資料館
募集締切 9月3日(金)
応募方法 申込書をメールまたはFAXでお送りください
 ●詳細は、協会ウェブサイトをご確認ください



家族・交流証言者
石田久美さん



被爆者
清野定廣さん

来訪者コーナー

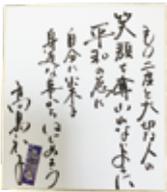


女優
高島 礼子さん

4月15日、高島礼子さんが長崎原爆資料館を訪問され、それに合わせて追悼平和祈念館に「平和メッセージ」をいただきました。「平和の為に自分に出来る身近な事からはじめよう」と書かれた色紙は、追悼平和祈念館内の情報コーナー2でご覧いただくことができます。

高島さんは、実力派女優としてドラマ・映画・舞台などで活躍中ですが、今回、被爆後の長崎を舞台に原爆や信仰について描いた映画「祈り〜幻に長崎を想う刻」（8月公開予定）で主演を務められています。

長崎原爆資料館の篠崎柱子館長との対談記事が、雑誌「潮」8月号と9月号に掲載されます。



写真資料調査部会が表彰されました

4月1日に行われた令和3年長崎市表彰式において、写真資料調査部会が表彰されました。市政功労表彰は、平和・社会福祉や保健環境の分野で20年以上尽力した個人・団体を長崎市が顕彰するもので、写真資料調査部会は「多年にわたり原爆被災写真の収集等を通じて被爆の実相の継承に尽力し、本市の平和行政の推進に大きく貢献した」として選ばれました。

表彰式に出席した松田斉・写真資料調査部会長は、田上富久・長崎市長から表彰状を受け取りました。



「被爆の実相の伝承」

オンライン化・デジタル化を始めます

追悼平和祈念館では、被爆者の体験記や写真などをデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供するオンライン化・デジタル化事業を新しく立ち上げました。

この事業は、学術的な知見を有する研究機関である長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）へ委託することとし、業務委託契約を結びました。

今後、RECNAが被爆資料等の追加調査を行い、分析と整理を進めていきます。また大学生を対象としたデジタル教材を開発し、国内外約70大学で開講されている「広島・長崎講座」へのデジタル教材の提供や、教育方法のマニュアルを作成し、オンライントレーニングによる教育人材育成に活用していきます。

この事業の取り組みにより、国内外のより多くの人に被爆体験資料へ触れてもらい、被爆の実相の理解・関心を深め、新しい切り口での効果的な伝承の在り方を目指します。



No. 17



お便りをお寄せください！

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp
〒852-8117長崎市平野町7-8
長崎平和推進協会「会員の広場」係

写真資料調査部会長 松田斉

また本年4月1日には、写真資料調査部会が、長崎市より「市政功労団体」として表彰されました。これは現在の我々の活動というより、深堀好敏前部会長をはじめ、過去の部会員の方々の長年の努力の延長としていただいたものだと思います。

なお7月下旬には、昨年度延期した原爆写真展を、長崎市立図書館で開催する予定です。



Peace Wing Nagasaki 会員の広場

写真資料調査部会は現在9人で活動しています。

昨年度はコロナ禍による活動休止期間もありましたが、長崎原爆資料館からの委託業務として、写真検証作業を行いました。これは同館が2014〜15年に米国立公文書館で収集した写真の撮影場所・内容・爆心地からの距離等を調査・検証するもので、2017年度から毎年実施し、昨年度は600枚を検証しました。

また本年4月1日には、写真資料調査部会が、長崎市より「市政功労団体」として表彰されました。これは現在の我々の活動というより、深堀好敏前部会長をはじめ、過去の部会員の方々の長年の努力の延長としていただいたものだと思います。



TOPICS! へいわトピックス

長崎市立長崎商業高等学校より 寄附をいただきました

長崎市立長崎商業高等学校 商業クラブの皆様がご寄附を届けてくださいました。去年に続いて2回目です。

広島市立広島商業高等学校と共同で、企業の協力を得ながら開発した焼きドーナツ「SMIRING」の売上利益の贈呈式が3月23日に行われ、横瀬理事長からは感謝状と記念品をお渡ししました。



国際基督教大学(ICU)と、 相互協力の協定書を結びました

当協会では、令和元年度より国際基督教大学のサービス・ラーニング実習のため派遣する学生を受け入れています。

3月29日、国際基督教大学とオンラインで結び、平和教育に関する連携協力をし、総合的な協力関係を築くため、協定書及び覚書を締結しました。



原爆死没者名簿の風通しが 2年ぶりに行われました

5月27日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿の風通しが行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止として中止したため、2年ぶりの実施となりました。

11時2分に黙祷を捧げ、名簿棚から取り出された191冊の名簿のページを1枚ずつめくって確認しました。



会員特典が追加されました!

当協会の「会員特典」に、新しいサービスが追加されました。会員証をご提示いただくと、優待サービスが受けられます。是非、ご利用ください。

- ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション カフェ (1階):
イートイン・テイクアウト代金5%オフ (一部対象外)
レストラン・ザ・キッチン (15階):
ハーフバイキング代金10%オフ (ランチタイム)
- i+Land nagasaki
天然温泉大浴場+岩盤テラス利用料金を大人500円
小学生300円 (スパテーマパーク利用時は+200円)

世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	中国	フランス	英国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2021年6月1日	6,260	5,550	350	290	225	165	160	90	40	~ 13,130

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 提供 <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

寄附者紹介

ありがとうございます

- ◎ 網谷 麻希 (敬称略) 10万円
- ◎ 故隈元 マツ(遺族) 10万円
- ◎ 長崎市立長崎商業高等学校 商業クラブ 三六,九七三円
- ◎ 中川 正仁 三万円
- ◎ 高比良 則安 二万円
- ◎ 山中 弘幸 一万円
- ◎ 久保田 安子 四,八三〇円
- ◎ 今田 拓郎 四,四九〇円
- ◎ 白鳥 純子 四千元
- ◎ 匿名 三万四千元

会員数報告

- ◎ 維持会員 989名
 - ◎ 賛助会員 158名
 - ◎ 学生会員 10名
- 令和3年6月18日現在

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。
今年度まだ会費を納めていただけない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。
お支払いただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。事務局長までご連絡ください。

